



家づくりの
お宅訪問
house story
knock 00

木のあたたかさに包まれた光に満たされた、風がぬける家

「梶原工務店」がつくった
筑後市在住 / Iさんの住まい

暮らし始めて2ヶ月という3人家族のーさん一家。

家の希望は木の家で平家にしたいということ。

木に包まれ、吹き抜けとロフトがある空間、

象徴的な階段を提案したのは「梶原工務店」だ。

木と自然の力を大切にした経験から生まれる木の家

玄関から入って正面に太い大黒柱。リビング・ダイニングに入つて見上げると角材ではなく木の形を生かした太い梁が3本。「木を重視していること、木を大切に使っていることを感じたのが、「梶原工務店」と家づくりをすることに決めた一番の理由です」。木の香りに包まれ、浮造の床が足裏に心地いい空間の中で、Iさん一家の表情はやわらかだ。「自然光で明るいし、窓を開けた時に風が抜けていくんですよ」。自然の力を最大限に生かすことも「梶原工務店」の

配置が大胆な階段だが、下を通る時に頭を打たないよう、階段の一番上のステップは他より広めにするという細かな配慮も



上／濃いグレーを基調としたシックな外観。左／大黒柱が迎えてくれる玄関。杉材に柿渋を塗った天井は落ちていた色合いだ

COMPANY DATA

梶原工務店
福岡県八女市新庄1003-5

連絡先
0120-077-187

HPアドレス
www.kajiwara-koumen.com

詳しい情報は
00ページに掲載



モダンな和室。押し入れにはサブプライムで秘密の引き出しがあったとのこと。「かなり気に入っています(笑)」



モダンな和室。押し入れにはサブプライムで秘密の引き出しがあったとのこと。「かなり気に入っています(笑)」

家づくり。柱と梁の軸組による在来工法を用いるなど、古来から引き継がれてきた物づくりの精神が大切にされているのだ。リビングの外にのびる庇の高さや長さも、無駄なエネルギーを使うことなく一年を通して快適な住環境を生み出すように計算されている。

家族がいつもつながっている吹き抜けとロフトがある平家

木の家とともにIさん夫妻が希望したのは平家にするということ。「どこにいても見渡せるような家、子どもが部屋にこもったりせず、

家族が毎日顔をあわせられる家に、カウンターを配したキッチンや家事動線を考慮しつつ、敷地面積よりも広さを感じさせる空間が生まれた。象徴的なのはロフトへつながる鉄製の階段で、リビングとダイニングを分けながら、軽やかなイメージ。これも、「すつきりした空間にしたい」というご主人の願いに応えたもの。的確な素材を使い、木にこだわっても固執はしない。『梶原工務店』が目指すのは「お客様のため」の仕事だ。常に掲げているのは『家を造ろう。オーダーメイドで、『私らしい家づくり』』。お客様のたくさんの願いを

「梶原工務店」は待っている。
「夜は光と木がほんわかしているのが見えて…帰ってきた時にあたかい光が迎えてくれる感じですね」とご主人。家に入る前からしあわせな時間が始まるようだ。